

2023年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1)基本情報

① 法人の名称

学校法人YIC学院（2023年度から学校法人YIC学院に名称変更）

②主たる事務所の住所等

住所：〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

電話番号：075-371-4040 URL：<https://www.yic-kyoto.ac.jp/>

(2)経営理念

YIC グループは 人と人との出会いを大切にし 愛され信頼される学校を目指す
常に最善の努力をする過程を讃え、無から有を生み出す創造力と叡智により教育
を通して社会に貢献する

学校を成長発展させ 教職員の幸福を願い、限り無い努力を惜しまない

<YIC の概念> Your Institute of Community Education

「地域の発展に貢献する 地域の皆さんのための教育機関」

(3)法人の沿革

2007年1月 学校法人京都中央学院の寄附行為が認可。

併せて、京都科学技術専門学校を設置者変更認可を受け、名称を
京都中央工科専門学校とする。

2007年4月 京都中央工科専門学校開校(工業専門課程、高等課程)

2008年4月 京都中央工科専門学校→YIC 京都工科専門学校に名称変更

2010年4月 YIC 京都工科専門学校→〈専〉YIC 京都工科大学校に名称変更
YIC 京都ビューティ専門学校(衛生専門課程)開校

2012年3月〈専〉YIC 京都工科大学校高等課程募集停止(廃止認可:2017年8月)

2013年4月 YIC 京都ペット総合専門学校(商業実務課程)開校

2016年4月 YIC 京都日本語学院が日本語教育機関として認定を受け開校

2018年4月 〈専〉YIC 京都工科大学校→〈専〉YIC 京都工科自動車大学校に名称変更

2021年4月 YIC 京都日本語学院が各種学校としてスタート

2023年4月 法人名称を学校法人YIC学院に変更

(4)設置する学校・学科（2023年度時点）

・〈専〉YIC 京都工科自動車大学校

自動車整備科

一級自動車整備科

国際自動車整備科

国際 IT ビジネス科

- ・YIC 京都ビューティ専門学校
美容科、美容科通信制(募集停止中)
ビューティスペシャリスト科
ブライダルホテル科
国際ホテル・ビジネス科(2024 年度設置)
- ・YIC 京都ペット総合専門学校
ペット総合科
動物看護科
- ・YIC 京都日本語学院

(5)教育理念・教育目標

専門知識を教授するとともに、専門職者にふさわしい心を涵養し、地域社会の発展・向上に貢献できる人財を養成する

1. 専門知識と技術を習得し、自己研鑽に励む人財を育成する
1. 社会の変化に対応できる人財を育成する
1. 慈愛の心を持ち、他職種とも協調できる人財を育成する
1. 利他の精神で、地域の発展・向上に貢献できる人財を育成する

(6)設置する学校の学生数の状況

(2023 年 5 月 1 日現在)

| 学 校 | 修業年限 (年) | 入学定員 (名) | 収容定員 (名) | 現員数 (名) |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| <専>YIC 京都工科自動車大学校 | 1~4 | 150 | 330 | 279 |
| YIC 京都ビューティ専門学校 | 2 | 200 | 360 | 208 |
| YIC 京都ペット総合専門学校 | 2~3 | 144 | 288 | 292 |
| YIC 京都日本語学院 | 1~2 | 225 | 225 | 173 |

- ・ビューティ専門学校の収容定員には、募集停止中の通信制(1 学年分 40 名)を含む。
- ・各校の学科ごとの詳細は、各学校で記載のとおり

(7)役員・評議員の概要

- ・別表1のとおり(2023 年度)
- ・定例理事会・評議員会(5 月、3 月)以外に 2023 年 8 月に臨時理事会・評議員会を開催し、2024 年度 4 月より国際 IT ビジネス科の定員を 20 名→30 名への増員を行った。

(8)教職員の概要

(2023 年 5 月 1 日現在)

| 学 校 | 教 員 | | 事務職員 (名) |
|-------------------|--------|--------|-------------|
| | 専任 (名) | 兼任 (名) | |
| <専>YIC 京都工科自動車大学校 | 13 | 8 | 25 |
| YIC 京都ビューティ専門学校 | 9 | 21 | |
| YIC 京都ペット総合専門学校 | 10 | 22 | |
| YIC 京都日本語学院 | 8 | 7 | |
| 法人事務局 | — | — | 3 |

(9)学校法人の事務組織

別図1のとおり(2023年5月1日現在)

(10)YIC京都の経営の特徴

ア.アメーバ経営

各部署(アメーバ単位)で全員参加の下、ミーティングを毎月ごとに実施し、採算表と重点項目を報告、検証を実施し、改善に繋げた。

イ.手帳型経営計画書

経営理念を始め、YICグループの諸方針が掲載されている手帳型経営計画書を毎朝礼時に復唱し、メンバーで基本方針の共有等に努めた。

ウ.環境整備

各部署(アメーバ単位)でアクションシート並びに年度改善進捗管理シートを基に、全員で環境整備活動を実施し、毎月定期的に点検、確認を実施した。特に2023年度はグループ方針として帰宅時の机上整理徹底に努めた。整理を推進することにより物を探す時間の削減に努めた。

(11)YIC京都総会の実施

学校法人YIC京都学院の役員・教職員が一堂に会し、新たな年度を迎えるに当たり活動方針、決意表明等を行った。〈開催日〉2024年3月22日

(12)教職員研修会の実施

ア.教務部門協議会主催で全教職員を対象として、次のとおり研修を実施した。

・2023年8月21日(月)

- 『無気力を克服してやる気を出すには』
- 『学校関係法令の基礎について』
- 『著作権について』

・2023年8月22日(火)

- 『総合授業観察の振り返り』
- 『リスクマネジメントについて』
- 『授業技術・学生指導・クラス運営の課題』(グループワーク)
- 『Z世代とのコミュニケーション』
- 『ICT技術を活用した授業等の工夫・改善』
- 『自己点検評価に対する取組み方』

・2024年3月22日(金)

- 『ハラスメント研修』
- 『2023年度 消防研修』
- 『教育の質の向上』について～YICの教育の質の保証について～

イ.その他各部門で受講した教職員研修については、各学校において、記載。

(13)施設・設備の整備

ア.施設・設備の整備

YIC 京都ペット総合専門学校の動物看護科 3 年制完成年度(2024 年度)への対応として実習室の改装・配置換え、および教職員増加に伴う職員室拡張を行った。

また、5 年計画で実施しているトイレ改修工事について、最終年度として改修工事を行った。

《主な工事内容(2023 年度)》

- ・2号館6F 大教室の実習室化(動物看護科)
- ・2号館1階職員室拡張、会議室設置

(13)その他

ア.学校法人の名称変更

2023 年度から法人名称を学校法人YIC学院に変更することに伴い、所要の手続きを実施した。

イ.省エネ対策

- ・電気削減クラウドサービス(エネクラウド)を導入して電気料金の削減に努めた。
- ・教室廊下の非常照明 LED 化を実施した。また、3 号館 1,3,4,5,7 のトイレ節水改修工事を実施した。その他、定期的に校内巡回を実施し、不要な照明の点灯やエアコンの使用が無くなるよう努めた。

ウ.全校一斉避難訓練の実施

2023 年 10 月 27 日 避難場所:梅小路公園 参加者数(教職員約 70 名 学生 約 980 名)

エ.新型コロナウイルス感染症対策

学生、教職員に対して、マスクの着用、消毒、換気、黙食など感染防止対策を呼び掛けるとともに、感染が発生した事例については、京都市保健所と連携して対応を進め、積極的疫学調査への協力を通じて、感染拡大の防止に努めた。

2. 事業の概要

2-1 <<専>YIC 京都工科自動車大学校>>

良識ある社会人として必要な資質を持ち、地域社会の発展に貢献できる自動車業界のスペシャリストとして活躍できる人材の育成を目指して、2007 年度から運営を行っている。

2023 年度においては、自動車整備科、一級自動車整備科、国際自動車整備科、国際 IT ビジネス科の 4 学科を設置しており、自動車整備科、一級自動車整備科にあつては、職業実践専門課程の認定(2014 年自動車整備科、一級自動車整備科、二輪自動車整備科)を受け、実践的な職業教育を目指している。また 2022 年度から中華人民共和国の国家プロジェクトに参画し、淄博職業学院(山東省淄博市)に教員を春期と秋期にそれぞれ 2 名ずつ教員を派遣している。(継続中)

(1) 学生の数

(2023 年 5 月 1 日現在)

| 学科名 | 修業 年限 | 入学定員 (名) | 収容定員 (名) | 学級数 | 現員数 (名) | 備考 |
|-------------------------|----------|-------------|-------------|-----|------------|------|
| 自動車整備科 | 2 年 | 50 | 110 | 2 | 103 | |
| 二輪自動車整備科 ^(※) | 2 年 | — | — | — | — | コース化 |
| 一級自動車整備科 | 4 年 | 20 | 80 | 4 | 60 | |
| 国際自動車整備科 | 3 年 | 40 | 120 | 3 | 116 | |
| 国際 IT ビジネス科 | 1 年 | 20 | 20 | 1 | 0 | |

^(※)二輪自動車整備科は、21 年度から自動車整備科のコースとし、22 年度末をもって廃止した。

(2)教育の方針

教育に当たつての 3 つのポリシー(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)に加え、新たにアセスメント・ポリシー(学修成果の評価方針)を策定し継続中。

(3)授業の質改善の取組み

ア.職業実践専門課程の認定を受けた学科においては、実践的な職業教育をめざし、以下の取組みを行った。

教育課程編成委員会等の開催

・第 1 回 2023 年 5 月 26 日

・カリキュラム検討会議

・第 2 回 2023 年 11 月 17 日

企業連携授業の実績

・職業教育協定数 16 社

企業へのインターンシップ

・一級自動車整備科 4 年生 12 名参加

イ.授業の質を向上するため、各種アンケートを実施し、改善点を共有した。

・アンケート等実施回数 2 回

ウ.コロナ禍ではあったが、可能な限り、校内外での技術大会やレース活動等の参加を奨励した。

エ.資格取得率 100%を目標として、取得率の向上に努めた。

〈主な資格取得実績〉

| 資格等名称 | 級数 | 実施団体 | 受検・受講者数 (名) | 合格者数 (名) |
|----------|----|-------|----------------|-------------|
| 自動車整備士 | 一級 | 国土交通省 | 11 | 9 |
| 自動車整備士 | 二級 | 国土交通省 | 79 | 76 |
| 二輪自動車整備士 | 三級 | 国土交通省 | 12 | 12 |

オ. 教員研修として、以下の研修に参加した

- ・マツダ SKYACTIV 技術セミナー(マツダ株式会社)
- ・SUBARU 技術研修会(近畿地区スバルグループ)
- ・アンラーニング研修(パーソナル研究所)
- ・日産技術講習会(日産自動車株式会社)
- ・タイヤ空気充填特別安全教育(京都府自動車整備振興会)
- ・研削砥石特別教育(京都府自動車整備振興会)
- ・整備主任者、自動車検査員研修(京都府自動車整備振興会)

(4)学生支援の取組み

ア. 基礎学力の向上

入学前学習や基礎力リサーチを通じて、学生の基礎学力の向上に努めた。

イ. 退学抑制

クラス経営計画書の策定や QU アンケートの実施(年 2 回)、あるいはカウンセリング等を通じて、退学の抑制(目標3%以下)に努めた結果、退学率は以下のとおり。

| 学科名 | 1 年(名) | | 2 年(名) | | 3 年(名) | | 4 年(名) | | 退学率 (%) |
|-------------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|------------|
| | 4 月 | 3 月 | 4 月 | 3 月 | 4 月 | 3 月 | 4 月 | 3 月 | |
| 自動車整備科 | 52 | 43 | 47 | 46 | | | | | 10.1 |
| 二輪自動車整備科 | — | — | — | — | | | | | — |
| 一級自動車整備科 | 16 | 16 | 13 | 13 | 19 | 17 | 12 | 11 | 3.3 |
| 国際自動車整備科 | 39 | 37 | 35 | 34 | 42 | 38 | | | 6.0 |
| 国際 IT ビジネス科 | 0 | 0 | | | | | | | — |

ウ. 就職支援

キャリア教育、キャリアコンサルティングを通して、学生の意識を高めるとともに、企業説明会(合同・個別)の機会を設け、学生の就職を支援した。

- ・合同企業説明会の開催 2023 年 11 月 24 日(60 社参加、会場:京都テルサ)

・就職内定率

| 学科名 | 在籍者数(名) | 求職者数(名) | 内定者数(名) | 就職率(%) |
|-------------|---------|---------|---------|--------|
| 自動車整備科 | 46 | 46 | 46 | 100 |
| 二輪自動車整備科 | — | — | — | — |
| 一級自動車整備科 | 11 | 11 | 11 | 100 |
| 国際自動車整備科 | 38 | 36 | 36 | 100 |
| 国際 IT ビジネス科 | 0 | 0(進学) | 0 | 0 |

エ. 奨学金の受給状況

| | |
|--------------------|------|
| 日本学生支援機構 給付型奨学金受給者 | 31 人 |
| 貸与型奨学金受給者 | 46 人 |

オ. 生活支援

ひとり暮らしサポート制度として通学が困難であり下宿せざるを得ないものに対し、在学期間中毎月 5,000 円の支給を行った。

(4)学生募集の取組み

高校生向け進路ガイダンスへの参加やオープンキャンパスの開催などにより、学生募集に努めた。また、LINE、Twitter、Instagram、Facebook、YouTube など、SNS の積極的な活用を図った。

- ・高校生向け進路ガイダンス参加回数 59 校(うち高校 3 年生対象 18 校)
- ・オープンキャンパス参加者数
実施回数 36 回 参加者数 145 名、WebOC4 名
- ・留学生募集 動員数 370 名
- ・出願数

| 学科名 | 入学定員(名) | 出願者数(名) | 入学者数(名) |
|----------------|---------|---------|---------|
| 自動車整備科 | 50 | 54 | 56 |
| 一級自動車整備科 | 20 | 12 | 10 |
| 国際自動車整備科 | 50 | 105 | 50 |
| 国際 IT ビジネス科(※) | 20 | — | — |

(※)コロナ禍による入国規制の影響を鑑み、2023 年度生は募集中止。

(5)その他

ア. 学校関係者評価委員会の開催

2023 年 5 月 26 日に学校関係者評価委員会を開催し、2022 年度の自己点検評価結果について議論いただいた。なお、自己点検評価結果については、6 月に情報公表を行った。

イ. 企業から実習用車両等の提供

企業様から実習用車両のご提供(贈与・貸与)をいただき、実習内容の向上に結び付けた。

MIRAI トヨタカローラ京都株式会社 (2023 年4月)

TOYOTA86 株式会社滋賀トヨタ (2023 年6月)

2-2 ≪YIC 京都ビューティ専門学校≫

良識ある社会人として必要な資質を持ち、地域社会の発展に貢献できるビューティ業界のスペシャリストとして活躍できる人材の育成を目指して、2010年度から運営を行っている。

2023年度においては、美容科、ビューティスペシャリスト科、ブライダル科の3学科を設置し、いずれの学科も、職業実践専門課程の認定(2014年美容科及びビューティスペシャリスト科、2017年ブライダル科)を受け、実践的な職業教育を目指している。なお、付帯教育事業として、美容科通信制の運営(2021年度から募集停止)も行っている。

(1) 学生の数 (2023年5月1日現在)

| 学科名 | 修業年限 | 入学定員(名) | 収容定員(名) | 学級数 | 現員数(名) | 備考 |
|---------------|------|---------|---------|-----|--------|-----------|
| 美容科 | 2年 | 80 | 160 | 4 | 102 | |
| ビューティスペシャリスト科 | 2年 | 50 | 100 | 2 | 76 | |
| ブライダルホテル科 | 2年 | 30 | 60 | 2 | 21 | |
| 美容科(通信制) | 3年 | - | 40 | | 9 | 2021 募集停止 |

(2) 教育の方針

教育に当たっての3つのポリシー(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)に加え、新たにアセスメント・ポリシー(学修成果の評価方針)を策定した。

(3) 授業の質改善の取組み

ア. 職業実践専門課程の認定を受けた学科においては、実践的な職業教育をめざし、以下の取組みを行った。

- 教育課程編成委員会等の開催
 - ・第1回 2023年5月22日
 - ・カリキュラム検討会議
 - ・第2回 2023年11月20日
- 企業連携授業の実績
 - ・職業教育協定数 23社
- 企業へのインターンシップ
 - ・美容科2年生 46名参加
 - ・美容科1年生 47名参加
 - ・ブライダル科1年生 11名参加

イ. 授業の質を向上するため、各種アンケートを実施し、改善点を共有した。

- ・授業アンケート等実施回数 2回

ウ.資格取得率 100%を目標として、取得率の向上に努めた。

〈主な資格取得実績〉

| 資格等名称 | 級数 | 実施団体 | 受検・受講者数 (名) | 合格者数 (名) |
|-----------|----|---------------------|----------------|-------------|
| 美容師 | - | (公財)理容師美容師試験研修センター | 45 | 45 |
| ネイリスト技能検定 | 1級 | (公財)日本ネイリスト検定試験センター | 10 | 7 |

エ.教員研修として、

- ・「教職員研修会」(近畿地区理容師美容師養成施設協議会)
- ・「JMA手技確認講習」(一般社団法人JMA)
- ・「ABE まつ毛エクステンション 認定講師」(日本理容美容教育センター)などの研修に参加した。

(4)学生支援の取組み

ア.基礎学力の向上

入学前学習や基礎カリサーチを通じて、学生の基礎学力の向上に努めた。

イ.退学抑制

クラス経営計画書の策定や QU アンケートの実施(年 2 回)、あるいはカウンセリング等を通じて、退学の抑制(目標 3%以下)に努めてきたが、退学率は以下のとおりであった。

| 学科名 | 1年(名) | | 2年(名) | | 退学率 (%) |
|---------------------------|-------|----|-------|----|------------|
| | 4月 | 3月 | 4月 | 3月 | |
| 美容科 | 50 | 46 | 52 | 47 | 8.8 |
| ビューティスパシャリスト科 | 35 | 24 | 41 | 34 | 23.7 |
| ブライダル科 (1年生:ブライダルホテル科) | 13 | 11 | 8 | 8 | 9.5 |

※美容科 2 年生について、9 月卒業 1 名、退学 4 名

ウ.就職支援

キャリア教育、キャリアコンサルティングを通して、学生の意識を高めるとともに、企業説明会(合同・個別)の機会を設け、学生の就職を支援した。

- ・合同企業説明会の開催

2024 年 1 月 22 日(月)(41 社参加、会場:京都テルサ)

- ・就職内定率

| 学科名 | 在籍者数 (名) | 求職者数 (名) | 内定者数 (名) | 就職率 (%) |
|---------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 美容科 | 47 | 45 | 45 | 100 |
| ビューティスパシャリスト科 | 34 | 32 | 32 | 100 |
| ブライダル科 | 8 | 5 | 5 | 100 |

※美容科:卒業延期 2 名

ビューティスパシャリスト科:卒業延期 1 名、就職希望無し 1 名

ブライダル科:卒業延期 3 名

エ.奨学金の受給状況

| | | |
|----------|-----------|-----|
| 日本学生支援機構 | 給付型奨学金受給者 | 32人 |
| | 貸与型奨学金受給者 | 56人 |

オ.生活支援

ひとり暮らしサポート制度として通学が困難であり下宿せざるを得ないものに対し、在学期間中毎月5,000円の支給を行った。

(5)学生募集の取組み

高校生向け進路ガイダンスへの参加やオープンキャンパスの開催などにより、学生募集に努めた。また、LINE、Twitter、Instagram、Facebook、YouTube など、SNSの積極的な活用を図った。

・高校生向け進路ガイダンス参加回数 62校(うち高校3年生対象18校)

・オープンキャンパス参加者数

実施回数 37回 参加者数 407名(うちWeb OC 4名)

・出願状況

| 学科名 | 入学定員(名) | 出願者数(名) | 入学者数(名) |
|---------------|---------|---------|---------|
| 美容科 | 80 | 58 | 58 |
| ビューティスペシャリスト科 | 50 | 34 | 34 |
| ブライダルホテル科 | 30 | 18 | 17 |
| 国際ホテル・ビジネス科 | 35 | 34 | 23 |

(6)その他

ア.学校関係者評価委員会の開催

・2023年5月22日に学校関係者評価委員会を開催し、2022年度の自己点検評価結果について議論いただいた。なお、自己点検評価結果については、6月に情報公表を行った。

2-3 ≪YIC 京都ペット総合専門学校≫

良識ある社会人として必要な資質を持ち、地域社会の発展に貢献できるペット業界のスペシャリストとして活躍できる人材の育成を目指して、2013年度から運営を行っている。

2023年度においては、ペット総合科、動物看護科の2学科を設置し、いずれの学科も職業実践専門課程の認定(2015年ペット総合科、2017年動物看護科)を受け、実践的な職業教育を目指している。

2022年度入学生からは、動物看護師の国家資格化に伴い、修業年限を3年とし、国家資格に対応したカリキュラムによる教育を実践している。2022年9月には、愛玩動物看護師養成所の指定を受けた。

(1) 学生の数 (2023年5月1日現在)

| 学科名 | 修業年限 | 入学定員(名) | 収容定員(名) | 学級数 | 現員数(名) | 備考 |
|--------|------|---------|---------|-----|--------|----|
| ペット総合科 | 2年 | 80 | 160 | 4 | 165 | |
| 動物看護科 | 3年 | 64 | 128 | 4 | 127 | |

(2)教育の方針

教育に当たっての3つのポリシー(アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー)およびアセスメント・ポリシー(学修成果の評価方針)を策定している。

(3)授業の質改善の取組み

ア.職業実践専門課程の認定を受けた学科においては、実践的な職業教育をめざし、以下の取組みを行った。

□教育課程編成委員会等の開催

・第1回 2023年6月7日

・カリキュラム検討会議

・第2回 2023年11月15日

□企業連携授業の実績

・職業教育協定数 8社

□企業へのインターンシップ

・ペット総合科 2年生 79名参加

・動物看護科 2年生 62名参加

イ.授業の質を向上するため、各種アンケートを実施し、改善点を共有した。

・授業アンケート等実施回数 年1回

ウ.資格取得率100%を目標として、資格取得率の向上に努めた。

〈主な資格取得実績〉

| 資格等名称 | 級数 | 実施団体 | 受検・受講者数(名) | 合格者数(名) |
|-----------|----|------------|------------|---------|
| 愛玩動物飼養管理士 | 2級 | 日本愛玩動物協会 | 166 | 130 |
| 愛玩動物飼養管理士 | 1級 | 日本愛玩動物協会 | 7 | 6 |
| 愛犬飼育管理士 | | ジャパンケネルクラブ | 6 | 6 |
| サロントリマー検定 | 3級 | 全国動物専門学校協会 | 15 | 13 |

| | | | | |
|----------------|----|------------|----|----|
| サロントリマー検定 | 1級 | 全国動物専門学校協会 | 63 | 62 |
| JKC トリマーライセンス | C級 | ジャパンケネルクラブ | 23 | 17 |
| JKC ハンドラーライセンス | C級 | ジャパンケネルクラブ | 10 | 10 |

その他取得資格: 損害保険募集人一般試験 基礎単位、サービス接客検定3級、2級、
アニマルハルパ®-講座ベースシグコース、硬筆書写技能検定3級等

エ. 教員研修として、以下の研修に参加した。

- ・「トリマー義務研修会」(JKC 近畿ブロック)
- ・「ハンドラー義務研修会」(JKC 近畿ブロック)
- ・「愛玩動物看護師指定講習会」(動物看護師統一認定機構)
- ・「動物取扱責任者研修会」(京都市動物愛護センター)
- ・全国動物専門学校協会「トリマー検定委員研修会」(全国動物専門学校協会)
- ・「新任教員研修」(一般社団法人職業教育・キャリア教育財団)

(4)学生支援の取組み

ア. 基礎学力の向上

入学前学習や基礎力リサーチを通じて、学生の基礎学力の向上に努めた。

イ. 退学抑制

クラス経営計画書の策定や QU アンケートの実施(年 2 回)、あるいはカウンセリング等を通じて、退学者の抑制に努めてきたが、退学率は以下のとおりであった。

| 学科名 | 1年(名) | | 2年(名) | | 退学率(%) |
|--------|-------|----|-------|----|--------|
| | 4月 | 3月 | 4月 | 3月 | |
| ペット総合科 | 86 | 80 | 79 | 78 | 4.2% |
| 動物看護科 | 64 | 59 | 63 | 61 | 5.5% |

ウ. 就職支援

キャリア教育、キャリアコンサルティングを通して、学生の意識を高めるとともに、企業説明会(個別)の機会を設け、学生の就職を支援した。

・就職内定率

| 学科名 | 在籍者数(名) | 求職者数(名) | 内定者数(名) | 就職率(%) |
|--------|---------|---------|---------|--------|
| ペット総合科 | 78 | 73 | 73 | 100 |

エ. 奨学金の受給状況(修学支援新制度対象機関)

日本学生支援機構 給付型奨学金受給者 68人

貸与型奨学金受給者 86人

オ. 生活支援

ひとり暮らしサポート制度として通学が困難であり下宿せざるを得ないものに対し、在学期間中毎月 5,000 円の支給を行った。

(5)学生募集の取組み

高校生向け進路ガイダンスへの参加やオープンキャンパスの開催などにより、学生募集に努めた。また、LINE、Twitter、Instagram、Facebook、YouTube など、SNS の積極的な活用を図った。

・高校生向け進路ガイダンス参加回数 65校(うち高校3年生対象14校)

- ・オープンキャンパス参加者数
実施回数 35 回 参加者数 375 名 (うち、Web OC 4 名)
- ・出願数

| 学科名 | 入学定員(名) | 出願者数(名) | 入学者数(名) |
|--------|---------|---------|---------|
| ペット総合科 | 80 | 88 | 82 |
| 動物看護科 | 64 | 71 | 64 |

注)2022 年度より、動物看護科の修業年限を 3 年に変更。

(6)その他

ア.学校関係者評価委員会の開催

2023 年 6 月 7 日に学校関係者評価委員会を開催し、2022 年度の自己点検評価結果について議論いただいた。なお、自己点検評価結果については、6 月に情報公表を行った。

イ.愛玩動物看護師の国家資格化対応

2022 年度より、動物看護科は修業年限を 3 年に変更して、国家資格に対応したカリキュラムによる運営を開始した。

- ・2022 年 9 月 22 日 京都府知事より愛玩動物看護師指定養成所の指定

2-4「YIC 京都日本語学院」

大学や専門学校へ進学するための日本語教育を、1年コース・1年半コース・2年コースを設置し2016年から行っている。アフターコロナで留学生の入学者数が戻り、定員の8割以上となって次年度へ見据えて定員の変更を申請した。

(1) 学生の数 (2023年5月1日現在)

| 学科名 | 修業年限 | 入学定員 (名) | 収容定員 (名) | 現員数 (名) |
|---------|------|-------------|-------------|------------|
| 1年コース | 1年 | 225 | 225 | 0 |
| 1.5年コース | 1.5年 | | | 40 |
| 2年コース | 2年 | | | 115 |

(2023年11月1日現在)

| 学科名 | 修業年限 | 入学定員 (名) | 収容定員 (名) | 現員数 (名) |
|---------|------|-------------|-------------|------------|
| 1年コース | 1年 | 225 | 225 | 0 |
| 1.5年コース | 1.5年 | | | 75 |
| 2年コース | 2年 | | | 130 |

(2) 授業の質改善の取組み

- ア. JLPT 対策試験授業を実施しN1:5名、N2:21名、N3:45名が合格できた。
- イ. 授業の質の改善のため授業アンケートを年2回実施し授業方法の改善を行った。
- ウ. 教員間相互の授業見学や教員の勉強会を行い、授業方法について共有した。
- エ. 教員勉強会の実施(学内)
 - ・EJU 対策、小論文・論文対策、志望動理由書・研究計画勉強会 計7回実施

(3) 学生支援の取組み

- ア. 日本で生活するために必要な情報を随時提供し、ルールについて指導を行った。
- イ. 定期的な学生相談やアルバイト紹介を行い、留学生の生活をサポートした。
- ウ. 内部進学を希望する学生への進学説明会を行うと共に、大学を中心として進学説明会を7月31日に実施した。就職希望の学生には公的機関とも連携をしながら就職サポートも随時行った。

(4) 学生募集の取組み

- アフターコロナで日本への留学希望者が急激に増えたため、例年以上にエージェントの厳選を行うと共に、細かい面接を行うことで日本語力の高い学生の確保と定員の充足に努めた。
- ア. 意欲の高い学生を送ってくるかどうかなど、既存のエージェントを精査し、新規国となるエージェントとも積極的に連絡を取り学生の確保に努めた。
- イ. SNSで学校の状況を積極的に発信した。
- ウ. ベトナム、インドネシア、バングラデシュ、韓国など比較的学生数の少ないエージェントと契約を交わした。

(6)その他

ア. 自己点検・自己評価(日本語教育機関の告示基準第1条第1項第18号)を実施した。

イ.漢字オリンピック

・夏季に1回実施した。

ウ.スピーチコンテスト

・2024年2月に実施した。

エ.日本文化体験

・組み紐ストラップ作り体験、折り紙・書初め体験を実施した。

2-5 法人の収益事業

(1)職業訓練の状況

ア. 求職者支援訓練

求職者(求職中、子育て中、ひとり親家庭、フリーター等)の方にビジネスソフト(Excel・Word・PowerPoint)、ホームページ更新業務・Webデザインの仕事がしたい方、資格取得(MOS 資格の Excel・Word エキスパート(上級)、PowerPoint アソシエイト(一般))を取得し、またコミュニケーション能力・ビジネスマナーの知識を習得しビジネススキルアップを目指す就職支援事業を計画し、2023年度は計5コースを実施した。

・求職者支援訓練実施状況

| 訓練科名 訓練期間 | 期間 | 募集定員 (名) | 受講人数 (名) |
|---|------|-------------|-------------|
| オフィスパソコン・Webデザイン基礎科 2023年2月15日～2023年6月13日 | 4ヵ月間 | 20 | 17 |
| オフィスパソコン基礎科 2023年4月14日～2023年8月10日 | 4ヵ月間 | 15 | 15 |
| オフィスパソコン・Webデザイン基礎科 2023年7月14日～2023年11月13日 | 4ヵ月間 | 15 | 8 |
| ビジネスパソコン実務・Webデザイン科 2023年10月16日～2023年2月15日 | 4ヵ月間 | 15 | 15 |
| ビジネスパソコン実務・Webデザイン科 2024年1月15日～2024年5月14日 | 4ヵ月間 | 15 | 10 |

イ. 社会人教育訓練

企業が生産性を向上させるための手段として 業務の課題解決に必要なITを選定し、そのITを操作して目的に適う情報を取得、分析し、解決策の構築を行い、課題解決に繋げる能力の養成を目的にしています。日々の業務にすぐに活用して頂けることを目標とする社会人教育事業を計画し、2023年度は計2コースを実施した。

・生産性向上支援訓練実施状況

| 訓練科名 受講団体名:ポリテクセンター京都 | 実施日 | 募集定員 (名) | 受講人数 (名) |
|--------------------------|------------|-------------|-------------|
| 表計算ソフトを活用した業務改善 | 2023年5月22日 | 15 | 15 |
| 表計算ソフトを活用した業務改善 | 2023年8月24日 | 15 | 15 |

| | | | |
|---|-----|---|---|
| MOS Excel スペシャリスト講座 2023年8月7日～2023年8月21日 | 4日間 | 1 | 1 |
| MOS Excel スペシャリスト講座 2023年9月11日～2023年9月25日 | 4日間 | 1 | 1 |
| MOS Excel スペシャリスト講座 2023年11月2日～2023年11月10日 | 4日間 | 1 | 1 |
| MOS Excel スペシャリスト講座 2024年2月15日～ 2024年3月8日 | 4日間 | 1 | 1 |

(2)貸し会議室の状況

京都駅から徒歩 5 分の立地で、会議、研修、説明会、講演会、各種検定試験、受験会場、セミナー、イベントなどの会場として貸し出している。収容人数 40 名前後の普通教室から 120 名ほどの大ホールがあり、2023 年度は計 225 社の利用があった。

・実績 ¥56,292,987 (参考:前年度実績 ¥54,688,939)

 予算 ¥59,030,835

 予実差 ¥-2,737,848

・貸出企業数 225 社(うち新規 114 社)、キャンセル数 33 社

・受験者、受講者などが減少したため高校の模試は自校で開催、検定試験では規模の小さい他会場に移られた。

別表1 役員及び評議員の概要

(2023年4月1日現在)

■理事 (定数: 6人以上7名以内)

| 氏名 | 任期 | 主な現職等 | 選任区分 |
|---------|---------------------|--------------------|------|
| 井本 浩二 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院理事長 | 7条2号 |
| 村田 忠男 | — | 〈専〉YIC 京都工科自動車大学校長 | 7条1号 |
| 中谷 浩美 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院専務理事 | 7条2号 |
| 井本美佐子 | 2023.2.01~2027.1.31 | (株)キチナンホールディングス取締役 | 7条2号 |
| 山田 高大 * | 2023.2.01~2027.1.31 | 共美工業(株) 代表取締役 | 7条2号 |
| 山本 貴士 * | 2023.2.01~2027.1.31 | (株)エムビーエス 代表取締役 | 7条2号 |
| 岡村 慎一 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院常務理事 | 7条3号 |

*外部理事

■監事 (定数: 2人)

| 氏名 | 任期 | 主な現職等 | |
|-------|---------------------|---------------|---|
| 桑原 望 | 2023.2.01~2027.1.31 | 桑原社会保険労務士事務所長 | — |
| 姫井 繁彦 | 2023.2.01~2027.1.31 | 姫井繁彦税理士事務所長 | — |

■評議員 (定数: 13~15人以内)

| 氏名 | 任期 | 主な現職等 | 選任区分 |
|-------|---------------------|---------------------|-------|
| 村田 忠男 | — | 〈専〉YIC 京都工科自動車大学校長 | 24条1号 |
| 細田 元一 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院参与 | 24条1号 |
| 山根 大助 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院管理部長 | 24条1号 |
| 飛田 隆 | 2023.2.01~2027.1.31 | 〈専〉YIC 京都工科自動車大学副校長 | 24条1号 |
| 中村 幸雅 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院総務課長 | 24条2号 |
| 大森 幸治 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院地域連携室長 | 24条2号 |
| 井上 浩伸 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院地域連携室職員 | 24条2号 |
| 佐藤 康治 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院内部監査室係長 | 24条2号 |
| 井本 浩二 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院理事長 | 24条3号 |
| 中谷 浩美 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院専務理事 | 24条3号 |
| 井本美佐子 | 2023.2.01~2027.1.31 | (株)キチナンホールディングス取締役 | 24条3号 |
| 山田 高大 | 2023.2.01~2027.3.31 | 共美工業(株) 代表取締役 | 24条3号 |
| 山本 貴士 | 2023.2.01~2027.3.31 | (株)エムビーエス 代表取締役 | 24条3号 |
| 岡村 慎一 | 2023.2.01~2027.1.31 | (学)YIC 学院常務理事 | 24条3号 |

別図1 学校法人の事務組織

(2023年5月1日現在)

